

ネットワークボード

えびす・ぱれっとホームの職員、姫崎さんは、有名な「土門拳文化賞」を受賞したことがある写真家です。来る11月17日～25日まで写真展が開かれます。以下ご本人のコメントです。《今回の写真展では、千葉県富津市にある「AlonAlon オーキッドガーデン(以下アロンアロン)」で撮影した写真を展示いたします。アロンアロンは胡蝶蘭の農園です。ギャラリーのオーナーに紹介され興味を持ち、見学したことが始まりでした。植物を育てることで障がい者支援をしている作業所を私自身は見たことがなかったため、とても新鮮でした。現場は知的障がい者と定年退職後のシニアが中心となり回っています。一人ひとりが心を込めて胡蝶蘭の世話をしている、出荷時はトラックに向かい一生懸命に手を振って、胡蝶蘭を送り出します。その姿からは、手塩にかけて胡蝶蘭に対する愛着のような気持ちが伝わって来ました。植物を育てるという行為が彼らの心の成長にもつながっているように思いました。》
詳細はギャラリーのHPでご確認ください。(編集部)

姫崎由美写真展「誰もがヒーロー」



会期：11/17(土)～25(日)12時～17時… ¥500

(いずれもソフトドリンク飲み放題)

・19(月)のみ12時～22時…………… ¥500

・21(水)のみ17時～22時…………… ¥1,000

(ワンアルコール付きで飲食持込可)

・20(火)、22(木)休廊

会場：ego-Art & Entertainment Gallery

東京都中央区日本橋本町 4-7-5

ギャラリーHP：<https://egox.jp>



編集後記



特集で「渋谷の福祉を考える」をテーマに取り上げてから1年半が経ちました。2か月に一回の発行とは言え、担当職員たちは、本来の多忙な業務の合間を縫って、取材に出かけ、調査をし、考察や問題提起を重ねてきています。その労力たるや……。しかも当初予定していたよりも、掲載したい内容が増え、3ページのボリュームなれど、一回の執筆ではまとめきれずにPart1…Part2…と掲載が増えていく繰り返し。それもこれも各自が「渋谷の福祉をなんとかしたい！」と強く思っているからにはほかなりません。渋谷区も長谷部区長のもと、官民共働に積極的で、私たちもこの数年が基盤を整える大きなチャンスと考えています。とは言え、行政が新規事業を決定しても、肝心の担い手がない、噴出する様々なニーズに現場は翻弄され続ける…「応えたい！」という気持ちとは裏腹な現実に立ちすくむことも少なくありません。制度の整備だけでは限界なのでは…福祉制度は今、全国規模で大きな岐路に立っているのかも知れません。(みなみやま)